



〈 学校教育目標 〉
自分とふるさとに誇りをもち、
未来を生き抜く“チカラ”の育成

上関町立上関中学校
学校だより No.10
令和7年10月6日

HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>

自分たちの手でつくりあげた笑顔あふれる運動会



9月27日(土)「上関町小中合同大運動会」を開催しました。祝島小、上関小、上関中3校あわせて約80名が参加しました。「最後まで諦めずに挑戦して思い出に残る運動会にしよう」をスローガンに中学校3年生、隊長、副隊長、隊係などのリーダーを中心にみんなでつくりあげた運動会です。

朝早くから、保護者、町長さんをはじめとした多くの地域の方にお越しいただき、子どもたちに温かい声援を送っていただきました。子どもたちは地域の皆様の大きな愛を感じ、元気いっぱい競技、演技を行いました。主なプログラムごとに子どもたちの様子を振り返ります。

【徒競走・短距離走】(小中学生)

小学生はグラウンドを約100m、中学生は約150mを走ります。スタートの前に一人ずつ名前が呼ばれ、返事をします。少人数の本學苑ならではの一幕です。一人ひとりが全力を出して走る姿、それを精一杯応援する姿が見られました。

【綱引き】(小4～中3)

最初に隊長、副隊長の号令で闘志あふれる掛け声で気持ちを盛り上げ競技に臨みました。男子のみ、女子のみ、全員と3回勝負をしました。小学生と中学生が力を合わせて1本の綱を引く姿はつながりを感じさせるものでした。

【大玉ころりん】(小1～3、中)

小中学生が一緒に大玉をころがし、リレーをする「大玉ころりん」です。グラウンドの真ん中で引いた札によって帰りのコースが変わるというルールです。小学生が元気な声で「ふーたん」「しーたん」「のんのちゃん」と引いた札を読み上げ、中学生がフォローしながら大玉をコントロールして行きました。勝負はかかっていますが、微笑ましい時間でした。

【応援合戦】(小学生)

全員が本部の前に集まり赤白に分かれて応援を披露しました。上関小、祝島小は交流学習の時に一緒に練習をしてきました。小学校1年生から6年生が自分の精一杯をだした元気いっぱいの声を出していて、見る側も笑顔になる応援でした。

【タイヤ奪い】(中学生)

グラウンドの真ん中にあるタイヤを奪い合うものです。男女でとるタイヤを別にしたり、参加者の数を調整するためにタイヤの位置を調整したりと工夫をしながら中学生全員で競いました。

【踊って玉入れ】(小学生)

かみのせきの玉入れは普通の玉入れではありません。玉入れの間に曲が流れて、決められたフレーズになると円の外に出てみんなで踊るのです。そして、また玉入れ。一生懸命玉を入れる姿とかわいいダンスが見られる1つで2つの姿がみられる楽しい競技でした。



【応援合戦】(中学生)

中学生の応援は隊席からスタートし、応援のパフォーマンスを行い、隊席に戻るまでを6分間の中で行うものです。夏休み期間中に隊係で内容を考え、約6時間の練習でつくりあげたものです。両隊ともダンスをメインにしたものでした。その中で一人ひとりの表情がとても生き生きしており、楽しそうに踊っているのが印象的でした。少人数ゆえに、一人ひとりが主役になれる上関中ならではの応援合戦でした。

【小中合同リレー】(小中学生)

小学1年生から中学3年生までが赤白2チームずつ合計4チームでバトンをつなぐ運動会最大の見せ場の競技です。一人ひとりが自分のもてる力を精一杯発揮していました。抜きつ抜かれつの展開や大きな差がつく中でも一生懸命に追う姿に大きな声援が寄せられ大盛り上がりでした。

今年度の運動会は練習の指導を生徒に委ねるなど「生徒主体」の活動になるよう教職員が意識してきました。当日、生き生きと活動する生徒の姿から、改めて子どもたちの可能性を感じました。

10月7日には上盛山の水仙の苗植え、8日には通学路等の安全点検のまとめ、16日には学校保健安全委員会、そして11月3日に行われるかみのせき學苑祭の準備等、生徒の手でつくりあげる機会が多くあります。保護者、地域の方のお声がけやご協力をいただき、生徒への後押しをお願いします。また、それぞれの行事の際にはぜひ学校に足を運んでいただければと思います。

災害に強い町づくりの一助になりたい



発表しました。その後、段ボールベッド、折りたたみ式ベッド、個別のスペースを間仕切るテントを組み立てました。事前に組み立て方を練習していた3年生が指導者となり、小中学生、保護者、地域の方に教える形で進めました。生徒の感想の中には「組み立てるのがちょっと難しかった。寝てみたら硬くて寝られそうになかった。」というものがありました。

全体での体験学習が終わった後に3年生だけで、避難所のレイ



アウトを考える活動を行いました。前の時間に建てた間仕切りなどを整理して配置して、動線やプライバシーを確保しながら、体育館の中にどのくらいの人数が入れるかなどを考えました。何回か試行錯誤して、自分たちなりのレイアウトを決めていきました。3年生はこの後も防災に関する学習を進め、11月3日の學苑祭で、その成果と共に12月9日(火)に室津地域で予定している避難訓練の計画を発表する予定です。

